

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

日本語による看護専門教育をおこないました（9期生）

12月16日から20日までの5日間、9期生を対象とした追加看護専門教育がおこなわれました。講義や教材はすべて日本語で、日本の社会制度や専門用語も学び、学生たちにとっては新しい知識に次々と出会う日々でした。疲れが見えたこともありましたが、無事に全日程を終えることができました。

追加教育期間の後半には、大学の教室と日本にいる講師をオンラインでつなぎ、講師と学生が交流できる時間を設けました。学生はグループワークでまとめた内容を発表し、それに対して講師がフィードバックをおこないました。老年看護学のパートでは、代表の学生が講師から指導を受けながら、更衣と食事介助の実演もおこないました。また、最終日には今回の講義で学んだことやベトナムと日本の医療の違いについて考えたことなどを、一人ずつ発表しました。どの学生もしっかりと自分の意見を日本語でまとめ、堂々と発表する姿から、9期生が学びの多い5日間を過ごしたことが伺えました。学生からは「日本の介護の文化と働き方についてもっと理解できました」「知識量が多いですが、日本の看護や日本とベトナムの看護師の違いについて多くのことを学びました」といった感想が聞かれました。今回得た学びを、今後の国試受験や日本での仕事に役立ててくれることを願っています。



交流会を開催しました



12月21日に毎年恒例の日本コース交流会が開催され、今年も学年の垣根を越えて学生間の交流を深めました。11期生と12期生による日本語での歌の披露もあり、終始学生たちの笑顔の絶えない、賑やかな会となりました。一部ですが、参加した学生の感想を紹介します。

この交流会はとても楽しくて、自分自身の関係を広げ、先輩たちから多くのことを学ぶことができました。

この交流会に参加できたことをとても嬉しく思っています。来年もっと面白いゲームができることを期待しています。

合唱がとても楽しかったと感じました。日本文化に親しみを感じることができ、音楽を通じてストレスを解消できました。

初めて参加しましたが、交流会を通じて、先輩と話したり仲良くなったり、友達と遊んだりすることができました。

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。旧年は日越両国の皆様と並々ならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

旧年は8期生が卒業し、新たに12期生を迎えました。いつも学生たちへの変わらぬご支援、激励をいただき、心よりお礼申し上げます。事業関係者一同より一層の努力を続けて参りますので、本年も変わらぬお引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

(担当：福田・霜鳥)

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0322

Web/http://vietnam-nurse.com/